

編集後記

本号から編集責任者となりました手塚です。編集後記は、季報を読まれる皆さまとのつながりを深め、情報を伝えるだけでなく、感情や思いを共有する場でもあると考えています。皆さまと共に、より良いコンテンツを提供し、価値ある情報をお届けするために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本年は例年と比べて桜の開花が遅い印象ですが、自然環境が人間の思い通りにはいかない難しさを感じています。人間が自然に逆らうのではなく、うまく自然と寄り添い利用する形で将来を考えていく必要があるのではないかと、改めて感じました。

そういった観点から、本号の記事にもあるブルーカーボン生態系を含む自然生態系を基盤としたアプローチ・対応策などは、非常に意義が大きいと考えます。

それらを実現するためには、付随する技術の開発が必要で、ここ数年様々な場面で定着してきたドローン技術などにも

大きな期待が寄せられます。本号ではドローンを活用した原子力発電所の廃炉作業などへの取り組み、それを実現するための狭隘部での技術開発が紹介され、より一層の開発加速が期待されます。

このような技術開発を進めていても、万が一、原子力事故が起こった際に、重大な事故進展を未然に防ぐための事故耐性燃料（ATF）の開発も世界各国の研究機関で進められており、研究員の皆さまのご苦勞や強い意気込みが感じられます。

自然と人間が上手く協調していくためには、これからも様々な問題に直面する場面が多く出てくると思います。当研究所でも、引き続き技術を中心に、エネルギー、脱炭素に関する様々な活動に取り組み、その情報発信を継続してまいります。当研究所の活動が本号をお読みの皆さまの今後の事業活動に少しでもご参考となれば幸いです。

編集責任者 手塚健一

季報 エネルギー総合工学 第47巻第1号

令和6年4月20日発行

編集発行

一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2

新橋SYビル(6F)

電話 (03) 3508-8891

FAX (03) 3501-1735

<https://www.iae.or.jp/>

(印刷) 株式会社 吉田コンピュータサービス

※ 無断転載を禁じます。